

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 6年 1月 ●日

事業所名：ブルーム

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> 十分に確保している 利用児や人数に応じてパーテーションやマットでスペースを分けて遊びやすくしている 死角が少なくなるようにパーテーションの置く場所の工夫をしている 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> 利用児や人数に応じてスペースを分けて遊びやすく工夫していく
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> 十分な配置をしている 行事の際には普段より多めに職員を配置して取り組んでいる 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> 活動に応じて職員数の増員を行い、利用児童をグループ分けをして、少人数での活動が出来るようにしている
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> 利用児に合わせて、視覚的に情報伝達できるよう絵カードや写真を利用してわかりやすく掲示している 完全なバリアフリーではないが、活動をする部屋は、ほぼ死角なく常に見守りができ、安全を確保し活動を行っている 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も利用者のニーズに合わせて、絵カードや写真を利用して視覚的に分かりやすく伝達していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の掃除を十分に行っている 手洗いも徹底して行い、おやつ前には、手指の消毒も行っている 玩具やドアノブなどの消毒も定期的に行っている 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も毎日の掃除、玩具の消毒、換気などを心掛けていく 手洗いも徹底的して行い、おやつの前には、手指の消毒も継続していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼を行い活動の流れを確認している 個別に支援を必要とする子どもについては、カンファレンスを行い、支援について支援内容をスタッフ間で統一している 日々の反省もしっかり行い、終礼を持つことで全職員がすべてのことを把握できるようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせやミーティングではスタッフ一人一人が自由に意見を出し合い、支援の仕方や活動の進め方について共通理解して取り組んでいく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所の職員と意見交換をし、業務改善を検討していく 		<ul style="list-style-type: none"> 継続していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修の機会がある時は、スタッフが自主的に参加するようにしている 外部研修に参加の場合、研修報告にて共有する機会を持っている 園内研修を実施している 		<ul style="list-style-type: none"> 継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児や保護者様の要望、ニーズを分析し計画を作成している ・利用児の課題や支援方法について検討する会議の場を設けている ・職員間でアセスメントを行い、計画書を作成している 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時や送迎で保護者様と会う時にニーズを確認して、利用者の行動観察を記録して個別支援計画書を作成している
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスを行い、計画を立てている ・子ども一人一人の発達の特性をつかむため、職員間でアセスメントを行って計画に取り入れるようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子ども一人ひとりに合わせて、ニーズに合った課題学習や個別活動をしたり、コミュニケーションを中心に集団活動を取り入れた計画を作成していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップで子どもたちが実際に達成できる目標を立てるように心掛けている 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップを大切にして、具体的で分かりやすいように支援内容を検討していくことを心掛けている
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせ時に個別支援計画を確認し、職員間で共有している 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様と話し合いながら必要な支援を職員間で支援方法の共有を統一していく
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が考えた活動内容に対して、みんなで意見を出し合って、活動プログラムを立てて実行している 		<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせやミーティングではスタッフ一人一人が自由に意見を出し合い、支援の仕方や活動の進め方について共通理解して取り組んでいる
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・休暇に合わせて活動内容を変えていく 	(ご意見なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢や性格に合わせて活動内容を変えている ・長期休みや土曜日にしかできない園外活動を計画していく
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・同じようなプログラムにならないように、スタッフ間でプログラムについて話をしたり、楽しい活動を本やインターネットで調べたりしながらプログラムを行うようにしている ・プログラムがマンネリ化しないように工夫していく 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にやりたい活動を記入してもらったり、中高生にはミーティングの時間をもち、やりたい活動を話し合うようにして、利用者が主体的に活動が出来るように継続していく
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で朝礼を行い、朝の打ち合わせをしている打ち合わせをしっかりと行い、支援内容や役割分担の確認を毎日行っている 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画案をもとに打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の確認を徹底していく
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> ・反省会を十分に行い、同じ反省が繰り返されないようにしている ・職員間で共有するようにしている 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も支援終了後に反省会を行い、職員間の連絡ノートや日誌に記載して、同じ反省が繰り返されないように職員間で共有していく 	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日々の日誌を記入して、次の日に活かせるように徹底し記録をしっかりと書くようになっている		・全体の活動の記録に加え、利用者一人一人の記録をとっていく ・次の日に活かせるような内容で記入するようにしていく
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画書を作成、見直しを行い、その際に保護者様との面談を持ち、現状の報告をして保護者様のニーズを再確認している ・定期的に会議を持ち、計画書の見直しをし適切な支援の提供をしていく		・概ね、六か月に一度、モニタリング・支援計画の見直しを確実にやっていく
関係機関との連携	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	・担任や児童発達管理責任者が積極的に担当者会議に参加するようにして、利用児の様子を見ながら、必要に応じて会議を持つように提案している		・サービス担当者会議に積極的に参加していく ・必要な場合、相談支援事業所に会議の提案をする
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・該当者なし		・該当者なし
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・該当者なし		・該当者なし
	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・送迎の際には、子どもの様子を尋ねるようにしたり、連携会議を持つようにして、支援内容を共有している		・保護者様を通して情報を得ている ・必要に応じて連携会議を持つようにしていく
	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・相談支援事業所への引継ぎや情報提供をする		・関係機関へ情報提供していく
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、積極的に参加するように勧めている		・積極的に参加するようにしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	(ご意見なし)	・地域交流の場が持てるように働きかけていく	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		・地域の方を招待できていない	・地域交流が持てるように工夫していきたい
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	(ご意見なし)	・契約時に丁寧な説明を心掛けている ・支援の内容については、支援計画の説明で知らせている	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	(ご意見なし)	・具体的に分かりやすく伝えるように心掛けている	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・子育てについての座談会などの実施をしている	(ご意見なし)	・定期的に保護者様の座談会を設けているので、引き続き職員のスキルアップを目指していく ・様々な子どもに合わせたテーマを取り入れるようにしていく
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・日々、連絡帳、サービス提供記録や送迎時に密に話をするようにしている	(ご意見なし)	・日々、連絡帳、サービス提供記録での連絡時や送迎時に話をするようにして、気になることがあれば、面談を持ち、出来るだけ早い対応を心掛けている
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者様から相談があった時には、現場のスタッフや児童発達管理責任者が検討して相談・助言等の対応をしている	(ご意見なし)	・保護者様から相談があった時には、現場のスタッフやサービス管理責任者が検討して相談・助言していく
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・子育てについての座談会(おひさま会、ママ会)の日程は、保護者様の参加しやすい日程となるよう調整していく	(ご意見なし)	・保護者様同士が交流できる場を定期的に作っている ・参加しやすい日時での開催に努めている
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・保護者様の思いを十分に聞くようにして、その都度対応している	(ご意見なし)	・苦情が上がった場合、子どもや保護者様の思いをしっかりと聞き、迅速かつ速やかに改善していくようにしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・写真や絵カードを活用しながら、分かりやすく伝えるようにしている	(ご意見なし)	・わかりやすい伝達方法を工夫したり、利用者や保護者様に合わせた伝わる方法を工夫していく
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・ホームページの更新や保護者様へのお便りで知らせている	(ご意見なし)	・定期的にお便りの発行やブログの更新を行っていく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報に関しては、事業所内職員室で話をしている ・書類を破棄するときに個人情報の書いているものは、必ずシュレッダーにかけて捨てている	(ご意見なし)	・個人情報については、今後も適切に取り扱っていく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを事業所に設置し、職員は目を通している	(ご意見なし)	・個別支援計画への掲載、面談時に保護者様への周知をしている
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に避難訓練を行い、AEDの研修にも積極的に参加していく	・書面にて避難場所の説明は受けています	・定期的に避難訓練を行っていく
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・子どもや保護者様の小さな変化を見逃さないように心掛けている		・研修への参加を引き続き行い、利用者や保護者様の小さな変化を見逃さないようにしていく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・身体拘束は、行っていない ・離席のある子どもに座るよう促す時の対応では、保護者様に説明して理解を得ている		・対応策を計画に記載するにあたり、保護者様に十分に話をして確認している
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者様からの聞き取りと調査票への記載をしている ・職員全員でアレルギーの把握をして、食べる時には、声を掛け合って、間違えないかの確認をしてからおやつを配るようにしている		・保護者様からの聞き取りと調査票への記載で対応を決めていく
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットの記載を行い、職員間での共有をして、同じことが起こらないように工夫している		・職員間で共有して同じことが起こらないように徹底していく